

令和2年度 技術科 1年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

< 2 > 各学年・各分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。
生活を工夫し創造する能力	生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術のかかわりについて理解している。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。（80％以上）
	B	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	C	努力を要する状況である。（50％未満）

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。（90％以上）
	4	十分満足できる状況である。（80％以上）
	3	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	2	努力を要する状況である。（50％未満）
	1	一層努力を要する状況である。（20％未満）

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT機器の活用
- ④個に応じた指導

技術科 1 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	工	技	知	
6	技術分野の学習を始めよう。 4 時間	・技術の発達によって、生活や産業がどのように変化してきたかを調べる。 ・技術の発達とエネルギー利用の変化について調べる。 ・3学年間の技術の学習内容を知る。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術についてしらべる。 ・木材、金属、プラスチックの特徴を調べ、発表する。	●	●			(関) 技術が果たしている役割に関心を示している。 (工) 調べ方をいろいろ工夫している。
	材料と加工法			●	●	●	(知) 木材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法について指摘できる。
7	5 時間	・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。 ・部品の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを調べる。	●	●		●	(知) 材料に適した切断、切削などの方法について指摘できる。
8	製作品の設計	・使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、構想図を書く。	●		●	●	(関) 省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。
9	・製作	・設計の手順を確認する。 ・構想図をもとに部品表を作成する。 ・材料を準備する。	●	●	●	●	(知) 製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などで書き表すことができる。 (工) 製作品やその構成部品の形状と寸法などを適切に決定している。
10	20 時間	・製品にかかるコストや省資源の視点から、構想図などを点検し評価する。 【言】 ・製作工程表を作成する。 ・使用材料ごとのけがき方と使用工具を調べる。	●	●	●	●	(技) 切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。
11		・仕上がり寸法線と切断線をけがく。 ・使用材料ごとの正確な切断方法を調べ、切断線にしたがって切断する。 ・寸法線にしたがって図面どおりに加工する。			●	●	(技) 製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができる。
12						●	

		・ 検査修正し、仮組み立てをする。 ・ 組み立てをして、検査と修正をする。 ・ 製品の材質や使用目的にあった仕上げ方法を調べる。 ・ 素材や用途にあった塗装や表面処理をする。 ・ 製作品の評価をする。 ・ 材料と加工の技術を適切に評価・活用するための活動を考える。	●		●	(関) 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 (知) 材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について説明できる。
1	コンピュータのしくみと基本操作 5時間 ネットワークと情報セキュリティ 8時間	1) コンピュータの構成 2) コンピュータの起動と終了 3) マウスとキーボードの操作 4) 文書の作成と保存 1) ネットワークの安全性と危険性 2) 情報モラル 3) 人権や個人情報保護 4) 知的財産・著作権の保護	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●	各装置の役割について、正しく理解できるか。 正しく起動、終了する事が出来る。ソフトウェアを起動する事が出来るか。 マウスの操作の違いを理解できるか。 各種の文字を打ち分けられるか。作成した文書を適切な場所に保存できるか。 情報の正しい防犯対策が理解できる。 利用するとき、発信するときのモラルが理解できる。 人権・プライバシー・肖像権個人情報の保護ができる。 ネットワーク上にあるものには、知的財産・著作権があることを理解する。